

SSH 大韓民国海外研修(韓国研修)



去る12月22日(木)～24日(土)まで、1・2年生6名が韓国・ソウル特別市の姉妹校／新道林(シンド



リム) 高等学校と、果川(カチョン)市の韓国最大級の科学館・国立果川科学館を訪問した。2022年は「新道林高校との姉妹校結結10周年」の記念の年であり、新型コロナウイルス流行の影響で3年ぶりの訪韓であった。

初日22日は、19時頃、新道林高校に到着した。外は-10℃の凍てつく寒さで、予定よりも遅れた到着だったが、あたたかい拍手と笑顔で迎えられ、歓迎セレモニーが行われた。新道林高校校長先生及び生徒会長から歓迎のあいさつがあり、本校職員と生徒が韓国語と英語で感謝の気持ちを述べた。



2日目23日は8時40分ごろ新道林高校に到着し、まず学校見学を行った。立派な校舎、科学教室、体育館、音楽室、調理室、図書館などを見た。図書館は朝8時から夜9時まで開いており、生徒が放課後も学習研究しているとのこと。

続いて、広い階段教室で、お互いの学校紹介を行った。新道林高校は2009年設立の全校24クラスのscience-focused schoolである。a science debate contest や astronomical observation



などが行われている。言語学習は、英語の他第二外国語として中国語か日本語を選択して学ぶ。日本語を流ちょうに使う生徒が見受けられた。その後、学術研究発表が行われた。

1 新道林高校	Water coin vs. Iris Comparison of fine dust reduction ability
2 柏崎高校	"Kindness" of Kashiwazaki's people
3 新道林高校	Study on Porous Materials Suitable for Removing Hazardous Chemicals
4 柏崎高校	Cloth material that easily blocks ultraviolet rays



研究発表の後は、科学創意授業に参加し、水の循環について、すごろくのように水の循環先を回るゲームをしながら学んだ。

その後、給食および親睦交流会でプレゼント交換等で親睦を深めた。



限られた時間の滞在

であったが、生徒はすぐにうちとけ、帰りは名残を惜しむ姿がみられた。言葉、文化、宗教、思想、ものの考え方、さまざまな違いがあっても、お互いを理解し、尊重しようとする努力が平和な国際社会への一歩になると信じる。